

ページ	中期計画案	項目	定性的目標	数値目標	数値化になじまない理由
2	第1-1(1)ア	健康危機事象発生時における役割	健康危機管理部門の設置	-	数値化できない
2	第1-1(1)イ		府内保健所等との調整	-	数値化できない
2	第1-1(2)ア	平常時における備え	連絡体制構築	-	数値化できない
2	第1-1(2)イ		健康危機事例の収集と整理	-	健康危機事象発生時の対応力強化が目的であり、収集事例の数を増やすことが目的ではないので数値化になじまない
2	第1-1(2)ウ		健康危機模擬訓練の実施	-	健康危機模擬訓練は原因を解明するプロセスが大切であり、訓練回数を増やすことが目的ではないので数値化になじまない
3	第1-1(3)①ア	迅速正確な検査	最新手法による検査実施	-	検査効率や検査結果の信頼性の向上が目的であり、数値化になじまない
3	第1-1(3)①イ		グループ体制の整備	-	数値化できない
3	第1-1(3)①ウ		機器更新計画の設定	-	数値化できない
3	第1-1(3)①エ		収去検査に標準処理期間設定	-	適正な標準処理期間の設定は、第2期に行う予定。
3	第1-1(3)②	信頼性確保業務	信頼性確保部門の設置	-	数値化できない
3	第1-1(3)②		外部精度管理試験参加	-	検査機関として信頼性が確保されていることが目的であり、数値目標にすることはなじまない。
3	第1-1(3)②		内部監査等の実施	-	
3	第1-1(4)①	調査研究課題設定	社会的ニーズの把握	-	数値化できない
4	第1-1(4)②ア	調査研究の推進	各種調査研究の推進	-	調査研究は数を増やすことではなく、質の向上に重きをおいて遂行することが目的であるため数値目標になじまない
4	第1-1(4)②イ		危険ドラッグ等の分析	-	受託事業等は、完全実施が前提であり、数値目標になじまない
4	第1-1(4)②ウ		省庁からの受託事業の実施	-	
4	第1-1(4)②エ		重点研究の推進	-	重点研究は研究の質が重要であり数値目標になじまない
4	第1-1(4)②オ		論文発表等の実施	380件/5年	
4	第1-1(4)③ア	共同研究・資金確保	競争的外部資金の獲得推進	200件/5年	
4	第1-1(4)③イ		受託・共同研究の推進	-	自治体設置の地方衛生研究所の性質上、件数を追い求めることが目的ではないため、数値目標になじまない。

ページ	中期計画案	項目	定性的目標	数値目標	数値化になじまない理由
4	第1-1(4)④ア	調査研究の評価	実施予定研究の審査	-	数値化できない
4	第1-1(4)④イ		実施中／終了研究の評価	-	数値化できない
4	第1-1(5)ア	感染症情報業務	情報を保健所等と共有	-	数値化できない
5	第1-1(5)イ		解析し行政側に助言	-	数値化できない
5	第1-1(5)ウ		情報の提供	-	時宜にかなった情報発信が大切であり数値目標になじまない
5	第1-1(6)ア	研修指導	保健所等職員技術研修	60回／5年	
5	第1-1(6)イ		公衆衛生関係者研修	1000名／5年	
5	第1-2(1)	協議会・国との連携	各種協議会参加等	-	協議会等との関係強化は回数ではなく質が大事なので、数値目標になじまない
5	第1-2(2)ア	地衛研との連携	東京都健康安全研究Cと連携	-	数値化できない
5	第1-2(2)イ		他地衛研に協力	-	数値化できない
5	第1-2(3)ア	行政機関との連携	高度な依頼検査の受入れ	-	高度な依頼検査数は想定困難なため数値目標になじまない
5	第1-2(3)イ		環境科学研究Cと連携	-	数値化できない
6	第1-2(4)	災害時連携	災害時に国や地衛研と連携	-	数値化できない
6	第1-3(1)ア	健康危機管理対応	専属部門設置、連携等	-	第1-1(1)～(2)と同じ
6	第1-3(1)イ		実地疫学専門家育成	-	第1期期間中に組織体制を確立することになるため数値目標になじまない
6	第1-3(1)ウ		保健所向け実地疫学研修	-	
6	第1-3(1)エ		感染症情報の広報戦略策定	-	数値化できない
6	第1-3(2)	疫学解析研究	疫学解析研究の実施	-	第1期期間中に組織体制を確立することになるため数値目標になじまない
7	第1-3(3)	学術・産業界連携	大学や企業等との連携	-	連携の質を深めることが目的であり、件数を増やすことはなじまない